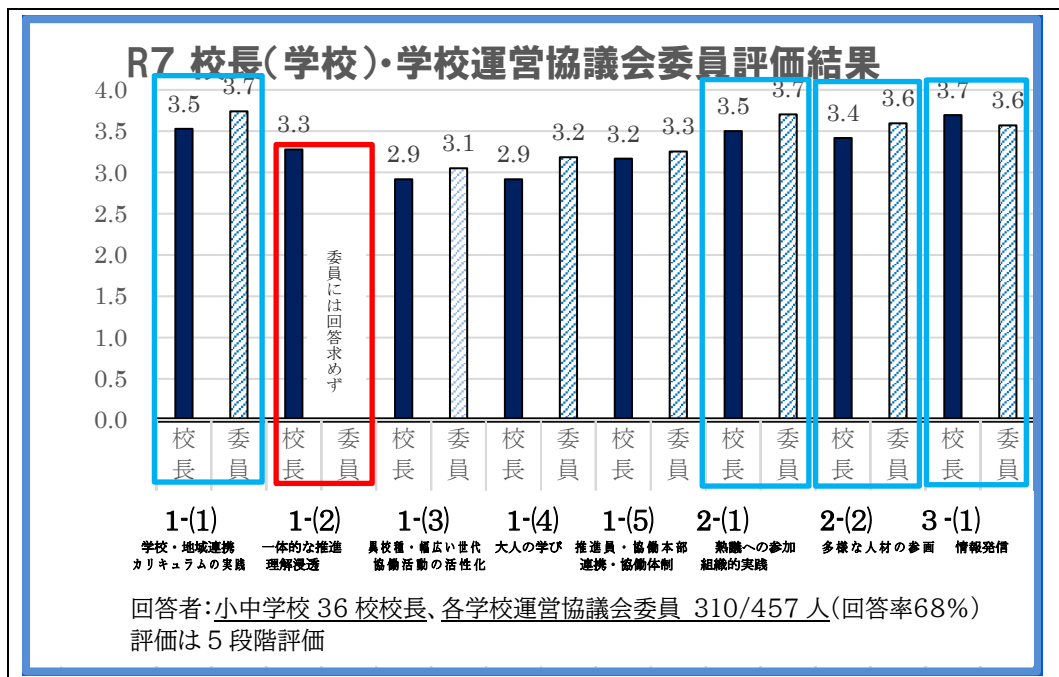




コミュニティ・スクールだより

8つの重点項目の取組状況調査から

本市では、今年度、3つの柱と8つの重点項目を設定して、コミュニティ・スクールの取組を進めてまいりました。全小・中学校長と学校運営協議会委員にその取組状況について、自己評価していただいた結果をお知らせします。



ほとんどの項目において、委員評価が校長(学校)評価を上回っており、傾向も同じです。唯一、「情報発信」のみ、0.1ポイント校長評価が上回りました。

校長評価に着目してみると、3-1「情報発信」が3.7ポイント、次

いで、1-1「学校・地域連携カリキュラムの確実な実践・改善」、2-1「児童生徒の熟議への参加」が3.5ポイントでした。これら3項目は、過去3年間の結果でも高評価であり、特に「熟議」については、わずかずつではありますが、着実に数値が向上しています。

来年度も「学校・地域連携カリキュラム」の見直し・改善を行いながら、ふるさとのよさや魅力を実感・再発見することのできる教育活動の充実につなげていくことが肝要です。また、熟議についても、さらに幅広い児童生徒の参加・参画を得ながら、学校や地域の課題解決に向けた具体的な方策を考えるなど、さらに充実した話し合いにしていくことが望まれます。そこから、地域と協働した豊かな活動を生み出していくことが1-3「異校種、幅広い世代との連携」や1-4「大人の学び場のある学校づくり」にもつながっていくと思います。

市としても、1-2「一体的な推進への理解浸透」や1-5「推進員・協働本部との連携協働体制」に、しっかり取り組んでまいります。

令和7年度 第3回宇部市コミュニティ・スクール推進協議会について(報告)

令和8年2月10日(火)に標記協議会を開催しました。市から取組状況調査や学校教育施策アンケートの結果について報告をし、今年度の成果と今後の取組について意見交換を行いました。いただいたご意見を今後の施策や各校への支援に生かしていきたいと思ひます。